Ⅱ 研究について

1 現状と課題

- (1) 定時制・通信制高校における生徒の現状
 - ①小中学校からの不登校経験者も多く、社会力が身についていない生徒が多い。 発達障害・学習障害を持つ生徒が多い。
 - ②勤労のモチベーション・自尊感情が低く、進路実現に課題のある生徒が多い。
 - ③生徒は多様な学習歴をもつため学力に大きな差があり、一斉に行う授業にも限界がある。進路目標達成を実現するのに課題を有する。
 - ④家庭の教育力が低く問題あるケースも多く、教員のかかわり方の難しい生徒も 多い。
- (2) 学びのセーフティーネットとしての定時制・通信制教育の充実の必要性
- (3) 引きこもりなどを防ぐための社会力の育成の必要性

2 事業概要

- (1)調査研究のねらい
 - ①進路アドバイザー(SSW的人材)やキャリアカウンセラーといった外部人材の 活用が、定時制・通信制高校で学ぶ生徒の社会力向上や進路実現にどのような有 効性を持つかを検証する。
 - ②外部機関との連携と協働により、定時制・通信制高校の組織的な問題解決力の向上を図る。
- (2)調査研究の概要
 - ①霞城学園高校を本県定時制・通信制課程の拠点校とし、県内 5 校の定時制・通信制課程を持つ県立高等学校を連携校とする。
 - ②拠点校に進路アドバイザーを週5日、キャリアカウンセラーを週1日配置し、生徒の相談活動など直接的な支援を行うとともに、キャリア教育システムの構築支援、生徒の就職の開拓や外部との連携の推進、ライフスキル・ソーシャルスキルトレーニング講座を教職員との協働のもと実施する。また、定時制・通信制の特色をふまえた「進路実現ハンドブック」の研究・開発を行う。
 - ③外部人材については拠点校の研究をふまえ、連携校に必要に応じて派遣するなどして成果の普及を図る。
 - ④取り組みの成果を検証し、充実させるため、有識者や県教委・労働関係機関等により構成される推進会議を年2回開催し、併せて成果の普及を図る。また、事業 最終年度(平成29年度)には、研究発表の機会を設ける。
- (3) 期待される成果
 - ①多様な生徒に対応できる学校組織としての教育力の向上
 - ②外部人材や外部機関との連携と協働による教職員の指導力向上

☆到達点: 生徒の社会力向上のための取組み (ライフスキル・ソーシャルスキルトレーニング講座など) のモデルケースづくり

- ③外部人材の直接的支援による個々の生徒への支援の充実 ☆到達点:進路未決定生徒の減少、効果を連携校に発信
- ④多様な学習歴、学力差に対応した指導システムの開発 ☆到達点:大学進学者の合格率、就職内定率の向上

3 調査の具体的内容・方法

- (1) 実施時期・検討会議構成等
 - ①平成27年度から3年間

「定時制・通信制課程における支援・相談体制の構築事業」

(外部機関の教育力を活用した学校と生徒の社会力の向上)

(多様な学習歴を持つ生徒の学力向上対応については平成28・29年度)

- ②霞城学園高校を拠点校に、県内定時制・通信制高校5校を連携校として実施
- ③研究の充実、成果の普及などのため、有識者、県教委、労働関係機関をメンバー とした推進会議を設置
- (2) 霞城学園高校での教育課程上の位置づけ
 - ①ライフスキル講座については総合的な学習の時間
 - ②ソーシャルスキルトレーニング講座については特別活動と課外活動
 - ③多様な学習歴を持つ生徒の学力向上の手立てについては課外活動
- (3) 施設·設備等
 - ①進路サポート室の設置

平成27年度から、進路アドバイザー及びキャリアカウンセラーが生徒への相談活動などの直接的支援を行うための専用の部屋の確保

- (4) 研修
 - ①講演・講義

教員の進路指導力の向上や生徒のソーシャルスキルアップ等を図るため、進路 アドバイザー及びキャリアカウンセラーが講演・講義を実施

- (5) 効果測定について
 - ①卒業年次生に対する相談活動の有意性を検証
 - ②生徒のライフスキル・ソーシャルスキルの向上の検証 (生徒個々の社会力向上の状況を把握するシートの作成と活用)
 - ③教員の連携・協働の実効性の検証

(成果ポイントの設定とチェックシート活用)

学生対応から事情を抱えた生徒へ の対応)へ応える教育活動の創造 定通教育への期待の変化(勤労 発達障がい等を抱えた生徒の指導 教育課題の解決の困難さに寄り添 ●多様な教育歴を持つ生徒に対応 家庭や家計に問題のある生徒増 ◎義務教育課特別支援教育室 (不登校、中退等経験者の増加) ◎調査研究への指導助言 社会適応力や基礎学力が身に なだ ◎進捗状況の管理監督 推進事業検討会議 定通教育の課題 研究成果の普及 ついていない生徒へ対応 ~原南部へ~ 相談体制の構築 ◎描紙公議の開催 ☆仏讖の構成 ☆会議の役割 ※ (年度2回) ◎労働関係機関 旦 ◎高校教育課 ◎ も 其 彰 点 校 える教員の力量 ◎有識者 ◎連携校 木上 無理 田山 午徐の 4教員の更なる社会力・進路指 2専門キャーアセクンセラー配 5学び直し等含め多様な学習 置による外部機関との密着 生徒・教員からの相談活動(拠点校以外の定・通課程設置5校等)「ライフスキルアップ」・「キャリア学習」・「進路指導」等に関するアドバイス、外部機関との連携 3ライフスキルアップセミナ-リンーツょうローセーの他格 多様な学習歴のある生徒へ対応 人な記言の効果 活用モデルケースグベリ の効果を全県に発信 学力差を埋める丁寧な学習 ■個別指導による能力の伸長 空き時間を活用した ●義務教育段階の学力保証 指導の在い方研究 進学希望者の学力向上 学習の追指導 多様な学習を支援する高等学校の推進事業概要図 11 コーディネイトする配置人材の有効性を検証 (新設) 機関の軟育力を活用し生徒の社会力向上を目指す 学び直しの研究) 導力向上 高校の現状 BU 图 H ・通信制課程を持つ霞城学 希望する職種や適性にきめ細か キャリア教育システ<mark>ム構</mark> 築支援・助言 ●像〈ことのモチベーションが高〈な 生徒や教職員の進路相談 外部機関と連携した進路 霞城学園高校版ジョブサポート 霞城キャリアカウンセラー ハローワーク等との繋が りを太くする就職指導 連携校への派遣 (基本的に月1回) に対応する指導の必要性 非常勤嘱託 (週1日) や活 信制課程 循 支援の連絡調整 ,, 業 い生徒の増加 の教育 の実践 製回 連膜。偏層を吹躍。 惧 時制 生徒。保護者へ直接 (面談・行政との連 ●特別な支援に関し専門性を持たな セミナー」(社会適応力向 **雲城進路アドバイザー** ●進路未決定で卒業してしまう生徒 ●自尊感情が高いと言えない生徒 外部機関の教育力発掘 「ライフスキルアップ 上研修)の充実・発展 ●発達・学習障がいを持つ生徒 非常勤嘱託 (週5日) ライフスキルアップ セミナー運営 生徒や教職員の相談 (SSW的人材) 外部機関 定 定時制 絡調整等) 大勝 い 教員 の UT 製回 丑 经 活

4 推進委員会

No.	氏 名	所属機関・学校・職名等	役 割
1	浅黄 喜悦	霞城学園高等学校校長	拠点校・議長
2	柳谷 豊彦	東北文教大学子ども教育学科特任教授	有識者
3	佐竹 真次	山形県立保健医療大学教授	有識者
4	松井 愛	ぷらっとほーむ共同代表	有識者
5	井上 真一 小坂 岳雄	県若者就職支援センター本部長	労働関係機関
6	大泉 昌悦	山形労働局職業対策課地方障害者雇用担当官	労働関係機関
7	中西 真	山形公共職業安定所就職支援部長	労働関係機関
8	柿﨑 則夫	県教育庁高校教育課長	県教委
9	岡崎 祐治	県教育庁義務教育課特別支援教育室長	県教委
1 0	神原 洋	県教育庁高校教育課指導主事	県教委・担当
1 1	石野森孝弘	新庄北高等学校(定時制)教頭	連携校
1 2	佐久間英郎	新庄北高等学校(定時制)進路指導主事	連携校
1 3	土屋 仁	米沢工業高等学校(定時制)教頭	連携校
1 4	山下 芳昭	米沢工業高等学校(定時制)進路指導主事	連携校
1 5	佐藤 りか	鶴岡南高等学校(通信制)教頭	連携校
1 6	齋藤 仁	鶴岡南高等学校(通信制)進路指導主事	連携校
1 7	砂田 智	鶴岡工業高等学校(定時制)教頭	連携校
1 8	佐藤 照子	鶴岡工業高等学校(定時制)進路指導主事	連携校
1 9	板垣 寿勇	酒田西高等学校(定時制)教頭	連携校
2 0	佐藤 一成	酒田西高等学校(定時制)進路指導主事	連携校
2 1	皆川 政浩	霞城学園高等学校副校長	拠点校・副議長
2 2	齋藤 昌広	霞城学園高等学校ⅠⅡ部教頭	拠点校・事務局
2 3	加藤 千恵	霞城学園高等学校Ⅲ部教頭	拠点校・事務局
2 4	加藤 治	霞城学園高等学校IV部教頭	拠点校・事務局
2 5	沼澤 欣一	霞城学園高等学校(定時制)進路指導主事	拠点校・事務局長
2 6	櫻井チカ子	霞城学園高等学校(通信制)進路指導主事	拠点校・事務局
2 7	田中 恵美	霞城学園高等学校(定時制)進路課	拠点校・事務局担当

〔推進会議〕年2回、本研究事業に対し、様々な見地から貴重なご意見をいただいた。

平成29年6月20日(火) 第1回推進会議:29年度の事業の進め方

平成30年2月21日(水) 第2回推進会議・研究発表会:3年間の事業のまとめ

5 校内委員会役割・組織図

職名	氏 名	研究分担・役割
校長	浅黄 喜悦	調査研究の総括
副校長	皆川 政浩	委員長 調査研究全体の指揮、外部調整
ⅠⅡ教頭	齋藤 昌広	事務主管 D・E
Ⅲ 教頭	加藤 千恵	事務主管 A・B・C・F
IV 教頭	加藤 治	事務主管 D・E
事務部長	武田 克也	会計責任者
事務部次長	大沼 睦美	会計事務担当

[小委員会(O印は代表)]

	No.	職名	氏 名	研究分担・役割
定	1	教諭	沼澤 欣一	事務局長、各事業の総括、会議等
	2	教諭	田中恵美	事務局 外部人材の活用、A B C
	3	教諭	齋野 亜衣	事務局 外部人材の活用、 A・B
	3	教諭	大谷 道雄	教務 D・E
	4	教諭	後藤 智子	教務 ① (F)
	5	教諭	齋藤 博之	保健
	6	教諭	藤井 了栄	I 部主任 E:講習・個別指導
	7	教諭	髙梨千恵子	Ⅱ部主任 C
	8	教諭	齊藤 秀智	Ⅲ部主任 D:「たいよう」
通	1	教諭	櫻井チカ子	事務局 Bの企画、調整、 E
	2	教諭	髙橋 友晴	事務局 Aの調整、①
	3	教諭	奥山 繁幸	教務 C・E
	4	教諭	平尾 玲子	教務 C・E
	5	教諭	小笠原珠江	保健F
	6	教諭	三浦 勝美	マルチメディアD・E
	7	教諭	佐藤 優子	生涯学習事務局 F

A委員会 相談活動、企画・スケジュール管理・調整、研究集録編集

B委員会 ソーシャルスキル等講座・研修の企画

C 委員会 進路ハンドブック、LHR の教材開発

D委員会 基礎学力アップ

E委員会 進学希望者への対策

F 委員会 ライフスキル講座 (総合的学習の時間)、生涯学習講座、

発達障害支援・外部機関との連携

[事業計画]

H27~ 3年間 「定時制・通信制課程における支援・相談活動の構築」

・外部人材の活用(H27~29)

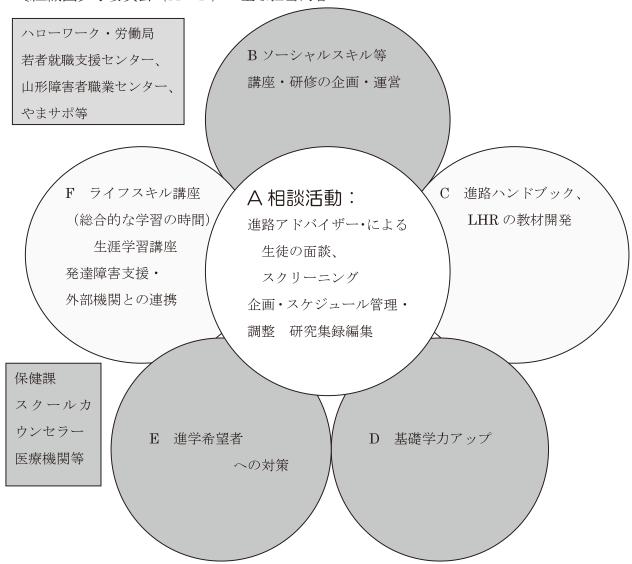
- ◎定時制 ○通信制
- ・多様な学習歴を持つ生徒への対応 (H 2 8 ・ 2 9) ◎通信制 ○定時制 [校内委員会]

5月12日(金) 校内委員会①:29年度事業計画の確認

11月24日(金) 校内委員会②:それぞれの進捗状況と研究集録・研究発表会など

2月 2日(金) 校内委員会③:研究発表会に向けて

[組織図] 小委員会 (A~F) の主な担当内容



6 平成2		CSプロジェクト年間計画	計画							
	5	9	7	80	6	10	11	12	-	2
全体企画	校内委員会①	推進会議① 定:職員研修会			合同職員研修会①		校内委員会② 合同職員研修会②			校内委員会③ 研究発表·推進会議②
連携校				新庄北(8/29)		鶴岡工(10/11) 鶴岡南(10/18)	米沢工(11/8) 新庄北(11/17)	鶴岡工(12/8) 酒田西(12/13)	新庄北(1/23)	
A相談活動、企画・	《定時制》	進路アドバイザーによる面談活動(1) (主に卒業予定者)					次年度卒業担任との信報を検	★路アドバイザーによる面談活動② よる面談活動② (主に次年度卒業予定者)		^
スケジュール管理、 研究集録	〈研究集録〉					研究集録割付	連携校・小委員会原稿依頼	原稿集約 編集	研究集録編集•入稿	研究集録完成
	〈通信制〉キャリアカウンセラー 進路アドバイザー面談									^
	〈全体〉		SST講座 —————							1
Bソーシャルスキル等、 講座・研修の企画	〈定時制〉 PTA総会「進学研修会」 保護者向け講話	(キャリアカウンセリング)	進路行事との連携	本:就職セミナー		(キャリアカウンセリング)		次卒:就職セミナー	•	
	〈通信制〉		通:進路講話 通:キャリア学習①			通:キャリア学習②				
C進路ハンドブック、 LHRの教材開発、活用	定通 年度当初 『進路ハンドブック』の活用を 『新知 LHR学習(5·7·9月)	定 職員研修会 「進路ハンドブックの活用」						『進路ハンドブック』 アンケート		^
					合同職員研修会					
D基礎学力アップ (定時制)	試験前学習会				試験前学習会		試験前学習会		試験前学習会	試験前学習会
	総合的な学習の時間 (前期)				\	総合的な学習の時間(後期)	^	総合的な学習の時間発表会		
		霞城塾(基礎カアップ学習 会)開始				1	霞城塾終了(20回)			
D基礎学カアップ (通信制)		HPIC学習支援資料アップ (年間)								
		マルチメディア教育委員会								
		卒 教科個別指導 ———								^
E進学希望者への対策	キャリアカウンセラーに よる進学講演会		夏期進学セミナー					冬期進学セミナー		
			卒 夏期講習 高1-2 夏期講習	^				卒 冬期講習 高1•2 冬期講習	1	高1・2「春の課題」
		外部模試	外部模試		外部模試	外部模試	外部模試	外部模試	センター試験	
E進学希望者への対策 (通信制)	教育資金説明·相談会 奨学金説明会	オープンキャンパス (個別の見学)	個別の説明・個別の相談活動	^	面接•小論文個別指導					
	(定時制)ライフスキル講座 総合的な学習の時間				*	(定時制)ライフスキル講座総合的な学習の時間				
	(前期工部)					(後期正部)				
Fライフスキル講座、 牛涯学習講座	(通信制)ライフスキル講座 総合的な学習の時間									
発達障がい支援										
	生涯学習講座(前期)						生涯学習講座(後期)			•